

久間がゆく

No.19

〔株〕福岡県南部給食センター

「元気の源を給食から」を合言葉に
「食」を通して地域に貢献



- 1 素早い手つきで、次々に弁当を詰めしていく社員。本社では毎日約 8000 食の給食をつくる
- 2 病院や介護施設の給食には、名前とともに、「減塩」や「魚中心」、「油控えめ」などのメッセージが書かれたプレートが付けられ、1人1人に合った給食が提供される
- 3 本社社屋。すぐ隣は、4月末に中山大藤まつりで賑わう参道が通る



皆さん、こんにちは。企業

支援相談員の久間です。今回紹介する企業は、幼稚園や学校などの給食調理サービスや弁当の宅配を行う(株)福岡県南部給食センターです。

同社は昭和61年、代表取締役社長の原幸一郎さんが弁当店を開いたことが始まり。

最初は店頭販売のみでしたが、お客さんのニーズに合わせて、徐々に配達に力を入れていくようになりました。さらに、幼稚園や学校などへの給食の提供も手掛けるように

【事業者情報】

- 本社所在地 = 中山 293
- ☎ 63・2865
- 資本金 = 1000万円
- 代表者 = 原 幸一郎
- 従業員 = 約 300人



なり事業を拡大。現在は、施設内での調理業務の受託も含め、県内を中心に100を超える幼稚園や高校、病院、介護施設などに給食を提供。また、市の委託を受け、独り暮らしの高齢者へ弁当を配達するなど、多い時は1日約2万食を提供する企業に成長しました。

同社の特徴は、利用者1人1人のニーズに合わせた給食作りと、安全安心な食材へのこだわり。子どものアレルギーに合わせた給食を用意したり、高齢者の体調や好みに合わせて弁当を作ったりと、細かく気を配ります。メニューは、30人の管理栄養士と栄養士が定期的に会議を開き、工夫しながら決めていきます。食材に関しては、信頼できる事業者から一括購入する他、一部の野菜は、本社近くの農園で、無農薬で自社栽培しています。

同農園では、配達先の幼稚園の園児たちが、ジャガイモやニンジンなどの収穫体験を行うなど、食材の確保だけでなく、食育教育にも一役買っています。

同社専務取締役の原将司さんは「食事は、1日の中で一番の楽しみ。今後、できるだけ地元の食材を使った、安全安心な給食を提供することで、皆さんに喜ばれ、地元に貢献できる企業に成長していきたい」と抱負を語りました。

平成24年7月の九州北部豪雨では、同社も大きな被害を受け、食器、調理器具、配送車などがすべて使えなくなつたとのこと。そうした大変な苦勞を乗り越えて、さらに事業を拡大されていることに感銘を受けました。

【問】市商工振興課企業誘致・ベンチャー支援係 ☎ 77・8762